

龍ヶ崎市体育協会表彰式

ースポーツ功労者、成績優秀者を表彰ー



2月17日、たつのこアリーナで「平成29年度龍ヶ崎市体育協会表彰式」が開催され、市のスポーツ競技の普及・発展に尽力した3人に功労賞が贈られたほか、各種スポーツ大会で活躍した団体・個人に優秀賞が贈られました。

表彰式には、龍ヶ崎ふるさと大使で、アテネ大会から4大会連続五輪出場のトリアスロン選手・田山寛豪さんが来賓として出席。「夢に向かって一生懸命頑張ってください」と受賞者の皆さんにエールを送りました。皆さんおめでとうございます。



関根寛さん（写真①前列左）・佐藤弘さん（同中）・荒井久仁夫さん（同右）に功労賞が贈られたほか、水泳の平野エリ子さん・卓球の杉野卓男さんをはじめ、各種スポーツ大会で活躍した団体・個人に優秀賞が贈られました。写真②＝優秀賞一般の部／写真③＝同中学生の部／写真④＝同高校生の部／写真⑤＝同小学生の部

カガミクリスタルの2人が茨城県伝統工芸士に認定

今年度県が創設した伝統工芸士の認定制度で、市内カガミクリスタル㈱のクリスタルガラス職人・松浦松夫さんと武井盛彦さんが、茨城県伝統工芸士の認定を受けました。

伝統工芸品の製造を12年以上続け、高度な技術・技法・知識で伝統工芸の維持・発展に努力している方を認定するので、県内で28人が認定を受けました。

非常に繊細なガラスの彫刻“グラヴィール”の第一人者・松浦さんは実務実績55年。その技術は「芸術」の域に達すると言われています。一方、成形職人の武井さんは「手吹き技法」の第一人者。26年の実務実績があり、現在は成形職場の職長を務めています。いずれも高い技術と経験が必要な技法ですが、日々研鑽を積みながら伝統を守り続けています。

今回は、その卓越した技術・技法はもちろん、後継者の育成にも情熱を注いでいることが高く評価されて認定となりました。

ークリスタルガラス職人の
松浦松夫さん・武井盛彦さんー

右から松浦さん、大井川茨城県知事、武井さん

